

私のふるさと



並木町
北島 昌芳 さん



私のふるさととは？と問われてみると、中学1年までを過ごした東京都武蔵村山市が該当します。

武蔵村山市は、現在も鉄道が通っていません。そんな不便な街なのに大きな団地があったため、当時通った小学校は全校児童1,500人超のマンモス校でした。休み時間の校庭はいつも所狭しの大混雑状態でした。

東京なのに森や林、畑がたくさんありました。自宅裏の空き地には近所の子供たちが集結し、毎日暗くなるまで野球三昧でした。森や林でもよく遊んだものです。

自治会対抗の市民運動会やソフトボール大会も開催され、少年野球チームも多数活動していました。地域対抗行事への参加は、とても楽しかった思い出です。

先日、久しぶりに訪れる機会がありました。かつての森や林、畑はほぼ無くなっていました。歳月の経過からすれば当然とは言え、ふるさとのイメージは完全に消滅していました。

街の全体的な雰囲気は、須賀川市に似ていた気がします。そんなこともあり、改めて私のふるさとを問われると、もう、今暮らしている須賀川市なのかもしれません。

tette 情報

tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteスクールシニア

「みんなでヨボヨボ予防 貯筋運動」

11月15日(金) 午前10時～11時30分 ※事前申込

tetteスクールファミリー

「きものに学ぶ和の美 ココロ美人」

11月23日(土) 午前10時～11時30分

※11月3日(日)午前9時から事前申込

tetteスクール 「ミステリーツアー プランS」

11月24日(日) 午後6時～7時30分

※11月16日(土)午前9時から事前申込

tetteスクールジュニア 「地球体験キャラバン」

12月7日(土) 午前10時～11時30分 ※事前申込

図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

水野仙子没後100年事業

●「有我すずなさんイラスト展」

11月30日(土) 午前10時～午後5時

12月1日(日) 午前9時～午後3時

●「菅野俊之さん講演会」

11月30日(土) 午後2時～3時30分 ※事前申込

こどもセンターのイベント・講座

こどもセンター ☎(76)6687

お誕生日カードづくり&記念撮影

11月8日(金)・18日(月)、12月2日(月)

午前10時～午後4時 ※事前申込時に希望時間を予約

空気でっぽうを作ろう

11月11日(月) 午前10時30分～11時 ※事前申込

ママカフェ 「家庭でできる応急手当」

11月14日(木) 午前10時～11時30分 ※事前申込

童謡うたあそび

11月22日(金) 午前10時30分～11時 ※自由参加

親子でリトミック

11月25日(月) 午前10時～11時30分 ※事前申込

読み聞かせ会など

内容	日時	会場
こども読み聞かせ会 (読み聞かせの会ポケット)	11/16(土)・ 23(土) 14:00	tette2階 「こども ライブラリー」
おひざにだっこのおはなし広場 (お話の会ラ・ポム)	11/20(水) 11:00	

有料のイベントもありますので、詳しくは各施設へお問い合わせください。



サークルとわたし



オカリナたんぽぽ ♪

代表者 瀬和 みどり
 会員 13人
 発足年月 平成26年4月
 連絡先 ☎(92)2003
 活動日 毎月第2・4土曜日
 午前9時30分～正午
 活動場所 大東公民館

「オカリナたんぽぽ ♪」は、公民館講座「オカリナ体験」の受講者が集まりサークルを結成しました。オカリナの素朴で優しい音色が大好きなメンバーは、小澤芳江先生の指導のもとに童謡、ポップス、クラシックから演歌まで幅広いジャンルの曲をアンサンブル演奏で楽しんでいます。

牡丹園のイベント出演や大東地区の文化の集い、大東地区の老人介護施設訪問を通して、地域の方々や高齢者の皆さんとの交流を図りながらオカリナを楽しく演奏しています。

オカリナに興味のある方大歓迎ですので、大東公民館でお待ちしています。



ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.303

- 昭和の記録写真から -

「旧陸羽街道下宿の一里塚」 (昭和30年代)



晴れた日には、土ぼこりがたちそうな昭和30年代の旧陸羽街道

写真は、現在の下宿地内を通っていた旧陸羽街道と一里塚です。江戸時代、主要な街道には距離の目印として一里(約4キメートル)ごとに塚が築かれました。一里塚の「須賀川一里塚(国史跡)」から北へ一里、旧滑川村に入る手前にこの一里塚があります。近代以降、陸羽街道は国道4号となり東北最大の幹線道路として戦後まで利用されました。多くの一里塚は昭和初期までに失われましたが、下宿の一里塚は昭和32年、市街地の西側に国道4号の新路線が完成したこともあり、拡幅工事で破壊されることなくその痕跡を保っています。宅地化された現在の風景からは思い至りませんが、この写真からは、雨が降れば一歩進むのも大変な泥道に人馬も車も難渋した時代がしのべます。

39 博物館 ☎(75)32